

・東京都教育ビジョン
・豊島区教育ビジョン 2015
・オリンピック・パラリンピック教育
・アクティブライフ研究モデル校
・朋有小学校「児童の健やかな心と体を育むプログラム」10 の取組

＜学校教育目標＞

- ・にっこりあいさつ
- ・はっきりすてきなことば
- ・やる気いっぱい心ひとつに

＜児童の実態と育てたい力＞

ISS 認証校として日常のけがの防止に努めているが、児童が健康に関心をもち、進んで運動する意識は高くない。児童が心や体の健康問題に気づき、解決するために進んで運動する力を育みたい。

＜学習指導要領の理解＞

「運動に親しむ資質や能力の育成」
・「健康の保持増進」・「体力向上」
3 つの具体的な目標を関連付ける。

児童が主体的に運動し学習する喜びを分かち合う力をもつ

＜体力テストによる実態＞

体力テストの結果から各学年ともに体力・運動能力が低い。特に持久力、投力、跳力の低さが著しい。

＜目指す児童像＞ ○笑顔ではっきりと自分を表現できる健やかな心と体をもつ児童

低 だれとでも仲よく協力したり助け合ったりして、楽しんで運動しようとする児童

中 仲間と協力して運動に取り組み、楽しみながら基本的な動きや技能を身に付ける児童

高 仲間と豊かに関わりながら運動に取り組み、楽しみながら互いの技能を高め合う児童

竹の子 友達と一緒に楽しんで運動しようとする児童

＜研究主題＞

「健やかな心と体をもつ児童の育成」

ー「認め合い・教え合い・励まし合い」3 つの合いを大切にする体育科指導の工夫ー

＜研究仮説＞

仲間と豊かな関わりをもって運動の特性や魅力に応じて学習すれば、自分の健康に関心をもち、体力向上を図ることができる。

＜研究のねらい＞

仲間と運動、学習の楽しさ、喜びを共感しながら、健康に関心をもち体力向上を図る。

＜研究内容＞

【調査研究】・体力テストの結果分析。年間授業の記録と「運動・健康に関するアンケート」を作成・実施し、検証授業前の児童の実態、後の児童の意識の変容を把握する。

【実践研究】・仲間と協力して豊かな関わりをもたせながら、集団で課題を達成させるためにどのような指導の工夫をすれば良いか。(集団的達成)

・豊かなスポーツライフに繋がるよりよい態度を育むためには、どのような指導の工夫をすれば良いか。(態度)

・子供の姿をどのように評価するのか。(評価)

＜1 学期＞

- ・研究計画の作成 (発表に向けて)
- ・研究内容の検討
- ・授業実践 ・実技研修

＜2 学期＞

- ・授業実践
- ・研究発表(区・都)
- ・実技研修

＜3 学期＞

- ・授業実践
- ・実技研修
- ・研究のまとめ

朋有小の児童の変容

教師の授業力向上

保護者・地域の信頼